第五講『源氏物語』　立教大学

次の文章は、女房の右近が光源氏と紫の上の御前で、夕顔の遺児である玉鬘（たまかずら）を見つけたことを報告する場面の一節である。これを読んで後の設問に答えよ。

大殿油などまゐりて、うちとけ並びおはします御ありさまども、いと見るかひ多かり。女君は二十七、八にはなりたまひぬらむかし、盛りに清らにねびまさりたまへり。少しほど経て見たてまつるは、またこの⑴ほどにこそ匂ひ加はりたまひにけれと、見えたまふ。（注）かの人を、いとめでたし劣らじと見ⓐたてまつりしかど、⑵思ひなしにや、なほこよなきに、幸ひのなきとあるとは、隔てあるべきわざかなと、見合はせらる。⑶大殿籠るとて、右近を御足まゐりに召す。「若き人は、苦しとて⑷むつかるめり。なほ年経ぬるどちこそ、心かはして、睦びよかりけれ」とのたまへば、人々忍びて笑ふ。「さり（あ）や。誰かその使ひならひたまはむをばむつからむ。うるさきたはぶれごと言ひかかりたまふを、わづらはしきに」など言ひあへり。「うへも、年経ぬると、⑸うちとけ過ぎば、はたむつかりたまはむとや。さるまじき御心と見ねば、あやふし」など、右近に語らひて笑ひたまふ。いと愛敬づき、をかしきけさへ添ひたまへり。今はおほやけに仕へ、いそがしき御

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ありさまにもあらぬ御身にて、世の中のどやかに思さるるままに、ただはかなき御たはぶれごとをのたまひ、をかしく（イ）人の心を見たまふあまりに、かかる（ロ）古人（ふるびと）をさへぞたはぶれたまふ。「かの尋ね出でたりけむや、何ざまの人ぞ。尊き修行者を語らひて、率て来たるか」と問ひたまへば、「あな見苦し（い）や。はかなく消えたまひにし夕顔の露の御ゆかりをなむ、見たまへ付けたりし」と聞こゆ。「げに、あはれなりけることかな。年ごろはいづくにか」とのたまへば、ありのままには聞こえにくくて、「あやしき山里になむ。（ハ）昔人もかたへは（6）変らではべりければ、その世の物語し出ではべりて、堪へがたく思ひたまへりし」など聞こえゐたり。「よし、心知り（b）たまはぬ御あたりに」と隠しきこえたまへば、うへ、「あなわづらはし。ねぶたきに、聞き入るべくもあらぬものを」とて、（7）御袖して耳ふたぎたまひつ。「かたちなどは、かの昔の夕顔と劣らじ（う）や」などのたまへば、「（8）必ずさしもいかでかものしたまはむと思ひたまへしを、こよなうこそ生ひまさりて、見えたまひしか」と聞こゆれば、「をかしのこと（え）や。誰ばかりとおぼゆ。（ニ）この君」とのたまへば、「いかでか、（9）さまでは」と聞こゆれば、「したり顔にこそ思ふべけれ。我に似たらばしも、うしろやすしかし」と、親めきてのたまふ。

（『源氏物語』による）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（注）
かの人…玉鬘をさす。

問一　傍線部（1）の意味として最も適当なもの一つを、次の中から選べ。

1　時間　　2　距離　　3　方向　　4　程度　　5　身分

問二　傍線部（2）の現代語訳として最も適当なもの一つを、次の中から選べ。

1　考えが浅かったのだろうか
2　心配しすぎたのだろうか
3　世評に影響されたのだろうか
4　思い込みであったのだろうか
5　軽い気持ちであったのだろうか

問三　傍線部（3）の現代語訳を七字以内で記せ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　傍線部（4）の意味として最も適当なもの一つを、次の中から選べ。

1　すねる　　2　ことわる　　3　いやがる　　4　気味悪がる　　5　腹を立てる

問五　傍線部（5）の現代語訳として最も適当なもの一つを、次の中から選べ。

1　源氏が右近に親しくし過ぎると
2　紫の上が右近に親しくし過ぎると
3　源氏が紫の上に親しくし過ぎると
4　右近が源氏に親しくし過ぎるので
5　右近が紫の上に親しくし過ぎるので
6　源氏が右近に親しくし過ぎるので

問六　傍線部（6）の現代語訳として最も適当なもの一つを、次の中から選べ。

1　元気でお仕えしていますので
2　交代もせずに仕えていますので
3　昔と同じ所で暮らしていますので
4　かたわらでずっと控えていますので
5　それなりの暮らしをしていますので

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問七　傍線部（7）について。なぜ耳をふさいだのか、その理由として最も適当なもの一つを、次の中から選べ。

1　夜も更けてもう寝たいと思ったから
2　世俗のつまらない話をしているから
3　多くの女性のことを話しているから
4　自分に聞かせたくない話をしているから
5　源氏と右近が楽しそうに話しているから

問八　傍線部（8）の現代語訳として最も適当なもの一つを、次の中から選べ。

1　まさかこの世には生きていらっしゃらないでしょう
2　決してそれほどは美しくいらっしゃらないでしょう
3　間違いなくあの女性とそっくりでいらっしゃるでしょう
4　きっと何とかそれなりにお暮らしでいらっしゃるでしょう
5　確かにあの女性と同じくらいきれいでいらっしゃるでしょう

問九　傍線部（9）の解釈として最も適当なもの一つを、次の中から選べ。

1　夕顔様ほどにはとうてい美しくありません
2　紫の上様の美しさにはまったく及びません
3　美しいけれども、紫の上様ほどではありません
4　女房たちとは比べものにならない美しさです

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

5　夕顔様とうり二つと言ってよいほどの美しさです

問十　二重傍線部（イ）〜（ニ）はそれぞれ誰をさすか。次の中から最も適当なものを一つずつ選べ。ただし、同じ番号を二度以上用いてもよい。

1　光源氏　2　紫の上　3　玉鬘　4　夕顔
5　右近　6　源氏の女房　7　夕顔の女房

イ＝　ロ＝　ハ＝　ニ＝

問十一　波線部（a）・（b）はそれぞれ誰に対する敬意か。次の中から最も適当なものを一つずつ選べ。ただし、同じ番号を二度以上用いてもよい。

1　光源氏　2　紫の上　3　玉鬘　4　夕顔

a＝　b＝

問十二　傍線部（あ）〜（え）のうち、他の三つと違う意味用法で用いられている「や」を一つ選べ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講　復習問題

①「すべて世にあるべくもさらにおぼえざりければ、…」の傍線部の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

イ　世間から嫌われてしまったと思わざるをえなくなったので。
ロ　立身出世の見込みがほとんどなくなってしまったので。
ハ　世の中の出来事に全然興味や関心が持てなくなってしまったので。
ニ　この世で生きていこうとはまったく思われなくなったので。
ホ　この世からすべてのことを消し去りたいと思うようになったので。

②「さは今一度相見ではいかでかあらむ」の傍線部の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

イ　もう一度会わないでどうしていられようか。
ロ　会うのはもう一度だけにしたいものだ。
ハ　もう二度と会うことはできないだろう。
ニ　一度会っただけでは気がすまないだろう。
ホ　もう一度会ってみてもどうにもならない。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③ 「あからさまに」の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

イ　露骨に　　ロ　ほんの少し　　ハ　大げさに

ニ　やむなく　　ホ　ぜがひでも

④ 次の傍線部1・2の文法上の意味は何か。後の中から最も適当なものをそれぞれ選べ。

この者どもに養は[1]れて行きけるほどに…

故なく心細く思ひ続け[2]られて、…

イ　受身　　ロ　可能　　ハ　完了　　ニ　尊敬　　ホ　自発

1＝　　　　2＝

⑤ 次の傍線部a・bそれぞれの文法上の意味として最も適当なものを、後の中から一つずつ選べ。

いかにすること[a]にかあらむ、…

若い心地に惑ひたまひ[b]ぬ。

イ　完了　　ロ　打消　　ハ　断定　　ニ　存在　　ホ　過去

a＝　　　　b＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第五講】

〈模範解答〉

問一　1　問二　4　問三　お休みになる（六字）　問四　3　問五　1

問六　2　問七　4　問八　2　問九　3

問十　(イ)　6　(ロ)　5　(ハ)　7　(ニ)　2　問十一　(a)　3　(b)　2　問十二　う

〈現代語訳〉

（源氏の君と紫の上が）灯火をおともしになって、くつろいで並んでいらっしゃるご様子は、たいそうすばらしい。女君〔＝紫の上〕は二十七、八歳にはきっとなっていらっしゃるだろうよ、盛りで輝くほど美しく年を重ねるにつれて美しくなっていらっしゃる。少し時間が経って拝見するさまは、またこの間に美しさが加わりなさったなあと、見えなさる。あの人〔＝玉鬘〕を、大変すばらしい劣りはすまいと拝見したが、思いこみであったのだろうか、やはり格段の差があるので、運のない人〔＝玉鬘〕とある人〔＝紫の上〕とは、違わなければならないものだなあと、（右近は）思わず較べてしまう。お休みになるといって、（源氏の君は）右近をお足さすりにお呼びになる。（源氏の君が）「若い人は、面倒だといっていやがるようだ。やはり年を重ねた者同士は、心を通じさせて、仲良くしやすいなあ」とおっしゃるので、女房たちはこっそり笑う。「その通りですよ。誰が源氏さまが使い慣れていらっしゃるのを嫌がりましょうか。わざとらしい冗談を言いかかりなさるので、困りますのに」などと言い合っている。（源氏の君は）「上〔＝紫の上〕も、（私が）年を重ねたもの〔＝右近〕と、親しくし過ぎるならば、また機嫌を悪くしなさるだろうとか。そうであるはずのないお心とは思わないので、危ない」などと、右近に（親しく）話して笑いなさる。たいそう魅力的で、おもしろい気配まで加わっていらっしゃる。今は朝廷に仕え、忙しいご様子でもない御身の上で、世の中をのんびりと思いなさるのに任せて、ただちょっとしたご冗談をおっしゃり、おもしろく人〔＝女房〕の心を試しなさるあまりに、このような古参の人〔＝右近〕までもからかいなさる。（源氏の君が）「その探し出したとかいうのは、どんな様子の人か。尊い修

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

行者と仲良くなって、連れてきたのか」と尋ねなさると、（右近は）「ああ見苦しゅうございますよ。あっけなく消えなさった夕顔の露の御縁者を、見つけました」と申し上げる。（源氏の君は）「なるほど、しみじみ心にしみたことだなあ。長年の間どこに（いたのか）」とおっしゃるので、（右近は）ありのままには申し上げにくくて、「へんぴな山里に（いらっしゃいました）。昔の人〔＝夕顔の女房〕もいくらかは変わらないでお仕えしていたので、その頃の話をし始めまして、耐え難く思いました」などと申し上げている。（源氏の君は）「よしよし、事情をご存じない方の前で（そんなことを言って）」と隠し申し上げなさるので、上〔＝紫の上〕は、「ああ面倒なことです。眠いので、聞こえるはずもないのに」と言って、お袖で耳をふさぎなさった。（源氏の君が）「顔立ちなどは、あの生前の夕顔と（較べて）劣らないだろうか」などとおっしゃると、（右近は）「必ずしもそうでもどうしていらっしゃるだろうか、いや、そうでもいらっしゃるまいと思っておりましたが、はなはだしく成長につれて美しくなって、お見えでした」と申し上げると、（源氏の君は）「すばらしいことだなあ。誰くらいと思われる。この君〔＝紫の上〕（とでは）」とおっしゃるので、（右近は）「どうして、それほどまでは（美しくていらっしゃるでしょう、いえ、それほどではありません）」と申し上げると、（源氏の君は）「（夕顔を見つけ出して）得意顔に思っているだろう。私に似ているならば、（なお）安心だね」と、親のようにおっしゃる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔重要単語〕

○にほひ【匂ひ】…①**色が美しく映えること**。②かおり。③威光。
　④染め色で、上から下へしだいに薄くぼかしていくようにしたもの。
○こよなし…①**はなはだしく違う**。②とてもすぐれている。③とても劣っている。
○むつかる【憤る】…①**不快に思う**。②幼児がだだをこねる。
○うるさし…①**わずらわしい**。②いやみだ。③りっぱだ。
○わづらはし【煩はし】…①**めんどうなさま**。②気づかいされるさま。③うるさい。
○あいぎゃう【愛敬】…①温和でやさしく魅力的なこと。②顔かたちがやさしくかわいらしいこと。
○かたらふ【語らふ】…①話をかわす。②**親しくつきあう**。③**男女が言いかわす**。④誘い入れる。
○げに【実に】…①現実に。**なるほど**。②**ほんとうに**。まったく。
○うしろやすし【後ろ安し】…（将来に）心配がない。**安心できる**。頼もしい。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第五講　解答解説

〔解説〕

① 呼応の副詞「さらに〜打消」で「まったく〜ない」の全否定。「すべておぼえざりければ」なので、「まったく思われなくなったので」。よって、正解はニ。

② 「で」は、打消接続の働き「〜ないで」。「見で」なので、「見ないで」。「いかでか」と疑問が重なっているので反語になりやすい形。さらに選択肢に疑問がないことから反語確定。「見ではいかでかあらむ」は「見ないでいられようか」。よって、正解はイ。

③ 「あからさまなり」は重要単語で、「ちょっと・ほんのしばらく」の意味。よって、正解はロ。

④ 1は、a段に付いているので助動詞「る」。上に「この者どもに」とあるので、受身。よって、正解はイ。
2は、助動詞「らる」の連用形。上が「思ひ続け」と心情語なので自発。よって、正解はホ。

⑤ aは「に」の識別。体言に付いており、下に「あらむ」の「あり」があることから断定。よって、正解はハ。
bは「ぬ」の識別。連用形に付いているので完了の「ぬ」。よって、正解はイ。

〔解答〕

①　ニ　　②　イ　　③　ロ　　④　1　イ　　2　ホ　　⑤　a　ハ　　b　イ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。